

2020 年度ゼミ (4001 演習 3A/4002 演習 3B) 要覧

担当者名	久保田 浩
演習テーマ	「宗教」とは何か？
内容と卒業論文の指導方針	「宗教」をキーワードとして、各自が関心をもつ事象について問いを立て、資料を探し出し、分析し、その成果を卒業論文としてまとめる。学術論文と学問的分析・論述の特徴を確認したうえで、これまで学んできた学問的な思考をフルに働かせつつ、同時に履修者全員の協働的営為を通して、各自の卒業論文を完成させる。
メール・アドレス	frhkubot@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	予めメールで連絡してください。
授業概要	<p>① 宗教文化に関する学術論文を講読しながら、学問的な分析方法と学術論文の形式について確認する。</p> <p>② 研究テーマ紹介、中間報告、最終報告等の複数回の発表を通して、各自の研究の問題提起と分析内容を履修者全員で共有し、批判的検討を行う。それをさらに各自の研究へとフィードバックする。</p>
学習目標	<p>① 学術論文の意義を理解した上で、論文執筆の手続きを身につけ、卒業論文を完成させる。</p> <p>② 多文化共生社会の実現にとって、「宗教」が有する問題と可能性を批判的かつ共感的に理解する能力を身につける。</p> <p>③ 「宗教」を契機として、社会と文化を考察する際の問題点を見抜く能力を獲得する。</p>
授業計画	<p>〈春学期〉</p> <p>1 導入 (卒業論文執筆に向けての心構え)</p> <p>2 研究テーマの紹介</p> <p>3～5 学術論文講読・討議①</p> <p>6～8 研究計画案の提示と検討</p> <p>9～11 学術論文講読・討議②</p> <p>12～14 卒業論文中間報告①</p> <p>15 総括討論</p> <p>〈秋学期〉</p> <p>1～3 卒業論文中間報告②</p> <p>4～8 研究遂行・論文執筆上の問題点の確認</p> <p>9～13 卒業論文最終報告</p> <p>14～15 宗教文化研究の問題点と可能性 (総括討議)</p>
予習	テキストの精読、レジュメの作成等発表の準備
復習	発表の振り返り、次回の発表に向けての継続調査
授業に関する注意事項	
教科書	特に定めない
参考書	戸田山和久『新版 論文の教室—レポートから卒論まで』(2012年)。
成績評価の基準	議論への参加度 (30%、コメントシートを含む)、複数回の発表 (40%、講読担当発表、研究発表)、提出物 (30%、レジュメ・報告書)

関連 URL	
備考	